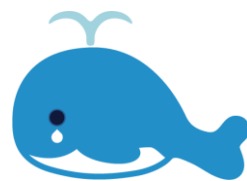


## 特集記事2

# かながわプラごみゼロ宣言



## アクションプログラム

平成30年8月、鎌倉市由比ガ浜の海岸にシロナガスクジラの赤ちゃんが打ち上げられ、胃の中からプラスチックごみが発見されました。県は、これを「クジラからのメッセージ」として受け止め、「かながわプラごみゼロ宣言」（以下「プラごみゼロ宣言」という。）を発表し、2030（令和12）年までのできるだけ早期に、リサイクルされない、廃棄されるプラごみゼロを目指すこととしました。



鎌倉市由比ガ浜に漂着したクジラ  
（写真提供・（公財）かながわ海岸美化財団）

そして、令和2年3月、目的達成のための具体的な取組を示した「かながわプラごみゼロ宣言アクションプログラム」を策定しました。今後、県は、同プログラムの3つの柱である①ワンウェイプラの削減、②プラごみの再生利用の推進、③クリーン活動の拡大等のそれぞれの取組を進めていきます。

### 1 ワンウェイプラの削減

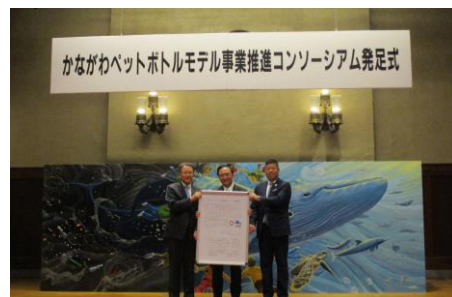
レジ袋や発泡トレイ等の使い捨てプラスチック（いわゆるワンウェイプラ）を削減するためには、ワンウェイプラの店頭回収、プラ製容器の削減や代替素材への転換などを進めていく必要があります。

県はこれまでもレジ袋削減を推進してきましたが、令和2年7月のレジ袋有料化を契機として、取組をワンウェイプラ全体に広げていくため、県内の市町村、スーパーなどの企業や生協・農協などの団体で構成する「神奈川県ワンウェイプラ削減実行委員会」を設置し、ワンウェイプラ削減の具体策に取り組んでいくこととしました。

今後、県は、実行委員会の構成員や県民を対象とした「ワンウェイプラ削減フォーラム」を開催し、市町村、団体、企業等の連携を促進していきます。また、実行委員会の構成員の取組実績やワンウェイプラの代替商品の情報等を発信していきます。

### 2 プラごみの再生利用の推進

最も身近なプラスチックであるペットボトルは、繰り返しリサイクルが可能ですが、分別の不徹底などにより、ペットボトル素材への再生利用実績は13%※と低い状況です。そこで、県は、清涼飲料製造事業者や（一社）全国清涼飲料連合会などの団体、ごみ処理・再生の事業者で構成する「かながわペットボトルモデル事業推進コンソーシアム」を令和2年3月に設立しました。



コンソーシアム発足式の様子

具体的な取組として、県、市町村、コンソーシアム参加企業等によるモデル事業を実施し、モデル地域内でのペットボトルの3分別（ボトル本体とラベル・キャップ）等を推奨し、ペットボトルからペットボトルへの再生利用に向けた、回収から処理までの効率的な仕組みづくりを行います。また、県は、再生したペットボトルが再利用され、資源循環の輪がつながるよう企業・団体や県民への働きかけを行っていきます。

※ PETボトルリサイクル協議会「PETボトルリサイクル年次報告書 2020」より算出

### 3 クリーン活動の拡大等

海岸ごみの約7割は、陸から川を通じて海に流れ出たものであり、流れ出たごみの起源は、街から出たものといわれています。そこで、海岸はもちろんのこと、川や街のクリーン活動を促進することが、重要になります。令和元年度には、県内市町村や（公財）かながわ海岸美化財団等が実施するクリーン活動に、約56万人が参加しています。今後、県は、「かながわクリーンアクティブ・フォーラム」を開催するなど、河川や海岸の清掃活動に、より多くの県民や企業が参加する仕組みづくりを進めます。

更に、ドローンを活用したスカイパトロールを実施し、不法投棄の早期発見・早期回収に努めるとともに、不法投棄の発見や通報に関する協定を締結した団体・企業等と連携・協力し、車両への啓発ステッカー掲示などの取組により、ごみのポイ捨てを許さない社会を目指します。



### 4 その他の取組

#### 1 普及啓発

プラごみゼロ宣言の取組がより効果的に進むよう、ラグビーのトップリーグなどのスポーツイベント等で回収したプラごみを使って作製した作品の展示や動画の発信等により、プラごみゼロ宣言の普及啓発を行います。また、学校、企業等を対象とした出前講座を実施し、地域の環境学習を推進します。



プラごみを使って作製した展示作品(約1/50スケール)

#### 2 実態調査

海洋汚染問題への対策を効果的に進めるため、相模湾沿岸に漂着したプラごみの種類やマイクロプラスチック発生源を把握する実態調査を河川や海岸等で行います。

これらの取組を通じ、県は、将来の世代に良好な自然環境を引き継いでいきます。

詳しくは、ホームページをご覧ください。

かながわプラごみゼロ宣言

検索

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/p3k/sdgs/index.html>

